

2023 年 3 月号

JTCC ニュース

(一社) 日本繊維技術士センター

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維JTCC」で検索できます。

< JTCC開催講座のご案内 >

(対面講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が 37.5℃以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施)

◆「技術士」資格試験案内(オープンセミナー)を令和5年3月25日(土)に開催します。

(後日、録画配信を行います。) (添付資料参照)

< オープンセミナーの案内 >

NO	講義方法	日時	配信方法	申込み期限
1	LIVE	R5年3月25日(土) 14時～16時	Teams	3月22日(水) 申込受付後招待状を送信します。
2	録画1	R5年4月9日(日) 14時～16時	Teams	4月5日(水) 申込受付後招待状を送信します。
3	録画2	R5年5月13日(土) 14時～16時	Teams	5月10日(水) 申込受付後招待状を送信します。

注) R5年4月9日(日)のセミナーに変更になっています。(従来は、4月8日(土)でした。)

- ・内容
- ①技術士資格について
 - ②技術士試験の内容説明
 - ③技術士受験講習会の案内
 - ④技術士試験合格者から: 勉強方法、資格取得後のメリットなどの説明
 - ⑤質疑応答

・申し込み方法

- ①JTCC ホームページ: <https://jtcc.or.jp>
- ②JTCC 本部あて、E-mail: jtcc-ed-os@mbr.nifty.com でお申し込み下さい。
氏名、会社名、所属部署、連絡先(TEL/FAX、メールアドレス)を明記願います。
後日、受講の招待メールを送信します。
一般社団法人 日本繊維技術士センター教育活動委員会
〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館内6階
(TEL 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575)

◆技術士一次試験の案内も添付資料にあります。

多くの方へのお声掛けをお願いします。

◆JTCC「公開講演会」

講演会は決まりましたら連絡します。

増井株式会社

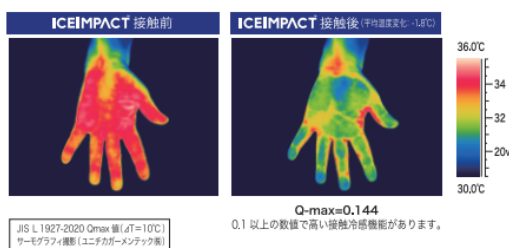
ICEIMPACT™

マルチファンクションクール素材

レーヨンの特長である接触冷感に
素材複合で多機能性を付与した快適素材です。

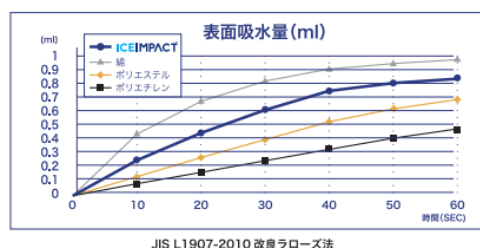
COOL

高い接触冷感機能があり、ひんやりを感じます。



WATER ABSORPTION

吸水性能は、綿に次ぐ高い効果があります。



UV CUT

紫外線保護指数は最高値 UPF50+ と証明されました。

これは素肌で紫外線の影響を受ける時間に対し、素肌と同程度の紫外線の影響を受けるには約 50 倍以上の時間を要することを意味します。

ICEIMPACT	UPF50+	Excellent
	UPF50	Excellent
	UPF30	Good
	UPF15	Minimum



増井株式会社

〒541-0042 大阪府中央区今橋 3 丁目 3 番 13 号 ニッセイ淀屋橋イースト
TEL 06-6203-7880 FAX 06-6203-7890 <https://masui-hd.co.jp/masui/>

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省(生活製品課)

ファッション・ビジネス・フォーラム 2023 を開催します！

このフォーラムは 2023年1月31日に開催されました。詳細は記事が入手できましたら報告します。

1. 「ファッション・ビジネス・フォーラム 2023」とは

国内人口減少や高齢化の進展による人口構成の変化、世界的なサステナビリティへの関心の高まり、デジタル化の加速など、繊維産業を巡る環境は大きく変化しています。加えて、昨今では新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの繊維産業関連企業の売上が落ち込むなど、状況は厳しさを増しており、繊維産業が今後成長、発展するためにはこうした変化に遅滞なく対応することが求められています。

そうした中で、繊維産業においては、新たなビジネスモデルを創出し、繊維企業の稼ぐ力を向上させ、また新しい発想・商品開発により、新市場の獲得を目指す、といった好循環を創り出すことが重要です。

経済産業省では、繊維企業を中心に多様なステークホルダーが結びつく場として、

1. 繊維産業等における新たな価値創造を次世代につなげる「繊維産地サミット」
2. 優れたビジネスモデル・技術を持つ繊維企業等を発信する「次代を担う繊維産業企業 100 選」
3. 先進的な取組をしている繊維企業や有識者によるパネルディスカッション

から構成される「ファッション・ビジネス・フォーラム 2023」を開催し、繊維産業における新たなビジネスモデルや好循環の創出を目指します。

繊維製品における資源循環システム検討会

先月号と同じ記事です。

概要

繊維製品分野に関しては、特に欧州において、環境配慮対応や人権デュー・ディリジェンスなどのサステナビリティに係る取組が急速に進展しています。こうしたグローバルな動向を踏まえ、我が国の繊維関連企業が、今後需要拡大が見込まれる海外市場においても競争力を維持・確保していくためには、繊維製品の資源循環システムの課題を整理し、必要な施策を講じていくことが重要です。

このため、経済産業省では、「繊維製品における資源循環システム検討会」を開催します。

今後のスケジュール 第2回収収・分別に関する現状と課題 日時:2023 年 2 月 場所:経産省会議室及びTeams

● 環境省の取組及び現状の制度

● 回収・分別に関する取組(企業等からプレゼンテーション) 第3回繊維の資源循環に関する海外動向について

日時:2023 年 2~3 月 場所:経産省会議室及びTeams

● 繊維の資源循環に関する海外動向(企業等からプレゼンテーション) 第4回販売、表示及び消費者意識に関する

現状と課題

日時:2023 年 3~4 月 場所:経産省会議室及びTeams

● 販売、表示及び消費者意識に関する現状と課題

● リサイクル繊維の活用に取り組み(企業等からプレゼンテーション) 第5回繊維技術ロードマップ、衣料品以外の

技術・取組について

日時:2023 年 4 月 場所:経産省会議室及びTeams

- 繊維技術ロードマップの進捗状況について
- その他、不足している論点について(補足) 第6回とりまとめ
日時:2023 年夏頃 場所:経産省会議室及びTeams
- 全体のとりまとめ

配布資料

- ・ 繊維市品の資源循環システムをめぐる現状と課題
- ・ サステナブルファッションの推進に係る取り組み
- ・ 繊維製品の資源循環システムの構築に向けた技術開発について
- ・ 繊維 TO 繊維リサイクルの課題(帝人フロンティア(株))
- ・ 廃棄衣料を新たな資源にするアップサイクル L ∞ PLUS の取り組み(倉敷紡績株)
- ・ 今後のスケジュール

2023年1月～4月 計5回開催 夏ごろに取りまとめを行う。

注)これらの情報は、経産省生活製品課「繊維製品における資源循環システム検討会」を見てください。

2. 環境省

- ・新着情報なし

3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

- 日本化学繊維協会 (詳細は化繊協会のホームページ参照してください)
 - ・新着情報なし
- 日本綿業振興会 (詳細はホームページ参照)
 - ・新情報なし
- 日本染色協会 (詳細はホームページ参照)
 - ・新着情報なし

4. (一社)日本衣料管理協会、(一社)繊維評価技術協議会(繊維技協)

●(一社)日本衣料管理協会

2023 年度 TES試験のスケジュール(予定)	
試験日	2023 年 7 月 9 日(日)
日程	4 月 1 日～5 月 12 日 願書配布 5 月 1 日～5 月 19 日(消印有効) 願書の受付 7 月 9 日(日) 試験日 9 月中旬 試験結果発表 11 月 1 日 認定日
試験会場	東京試験場 未定(決定次第お知らせします)名古屋試験場 ウィルあいち京都試験場 京都女子大学福井試験場 未定(決定次第お知らせします) 倉敷試験場 倉敷ファッションセンター福岡試験場 JR 博多シティ会議室
※新型コロナウイルスの感染状況により、試験会場の変更や試験を中止する場合があります。 最新情報は随時ホームページにてご案内します。	
受験資格	学歴・年齢を問わずだれでも受験することができます。

- ・2022 年度「衣料管理士の集い」3 支部合同勉強会 が開催されます。
内容及び申込用紙は添付資料を見てください。

●(一社)繊維評価技術協議会(繊維技協)

- ・新着情報なし

●関西ファッション連合

- ・新着情報なし

業界待望のバイブル!!

次代につなぐSDGs
持続可能な染色加工をめざして

日本を代表する繊維技術士16名による実践のノウハウ書

テキスタイル実務者 必携

実践の染色読本

4月末 発刊!!

●企画：日本染色加工同業会80周年記念事業

●編著：一般社団法人 日本繊維技術士センター (JTCC)

●発行：株式会社 ファイバー・ジャパン
<https://www.fiberjapan.co.jp>

●体裁：B5判 350ページ

●定価：本体 10,000円 + 税

JTCCご紹介 特別価格 2023年6月末まで
初版限定

7,000円 (税+送料共)

本書の内容は今までにない充実したものと自負。
初心者を対象というよりむしろ染色の実務経験の
ある方にぜひ読んでいただきたい。(JTCC 嶋田理事長)

「発刊にあたって」より (抜粋)

当同業会の80周年記念事業として、「実践の染色読本」を発刊することになりました。現存する染色加工に関するノウハウ書はありません。今回の企画により染色加工技術分野唯一のノウハウ書が誕生することになり、次代の染色加工技術の持続可能な礎になると確信しています。

執筆と監修は日本繊維技術士センター技術支援委員会に協力いただきました。染色加工技術分野は多岐に渡っていますが、詳細に執筆いただき充実した内容になりました。テキスタイル関連に携わる実務者は、海外を拠点に活動をしており、このノウハウ書「実践の染色読本」を必携書として有効に活用されることを切望します。

日本染色加工同業会

理事長 伊藤 博
代表幹事 今田 邦彦

「発刊に寄せて」より (抜粋)

日本染色協会は、当業界の将来に向けての課題解決案として、①「SDGs」への取り組み、②新商品開発等への新たな取り組みを掲げております。これらの課題達成に向けて、今回、日本染色加工同業会の80周年記念事業として企画され、長年、染色加工に従事され蓄積された技術の粋を結集された本書は、今後、当業界の染色技術者育成の基礎となり、染色の現場で発生している不具合の種々の課題解決に寄与するものと確信しております。

一般社団法人 日本染色協会

会長 後藤 勝則

執筆者一覧 (順不同・敬称略)

嶋田 幸二郎	(一社) 日本繊維技術士センター 理事長、元・帝人㈱、尾張整染㈱
今田 邦彦	(一社) 日本繊維技術士センター 顧問、元・住友化学㈱
有瀧 宗重	(一社) 日本繊維技術士センター 執行役員、元・東洋紡㈱、元・大同マルタ染工㈱
橋本 嘉顯	(一社) 日本繊維技術士センター 理事、元・東洋紡㈱
橋田 佳雅	(一社) 日本繊維技術士センター 評議員、モリリン㈱
馬場 武一郎	(一社) 日本繊維技術士センター 正会員、日本毛織㈱ 衣料繊維事業本部
西村 元廣	(一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・ユニチカ㈱
寺寄 正淳	㈱日阪製作所 プロセスエンジニアリング事業本部
大島 直久	(一社) 日本染色協会 理事 大阪事務所長 兼 技術部長、元・東海染工㈱
秋丸 光嗣	(一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・和歌山染工㈱
松田 芳樹	(一社) 日本繊維技術士センター 協力会員、元・DIC ㈱
金崎 英夫	(一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・日華化学㈱
越智 清一	(一社) 日本繊維技術士センター 客員、元・東洋紡㈱、元・(一社) 繊維評価技術協議会
上本 雅則	(一社) 日本繊維技術士センター 正会員、元・東レコーテックス㈱
水囊 満	(一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・㈱ミツヤ
森本 國宏	(一社) 日本繊維技術士センター 評議員、元・(一社) 日本染色協会

★裏面に特別価格FAX申込書——

本書は4月末発刊後に発送させていただきます。

裏面 内容目次

内容目次は、添付資料を見てください。

Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆＜繊維学会誌＞ 2023 年 1 月号



新春企画特集＜100年後の未来を Considering＞

○新春企画特集「100年後の未来を Considering」

○年頭の抱負を語る

東北・北海道支部、関東支部、東海支部、北陸支部、関西支部、西部支部

＜業界マイスターに学ぶ せんい産業資材の基礎知識—21、22＞

○第4編 産業用途への応用

(一社)日本繊維技術士センター 溝口隆久

(8)環境用途 ③水処理・造水

4. 8. 3 水処理・造水

4. 8. 3. 1 地球を取り巻く環境問題としての水不足

4. 8. 3. 2 水の循環

4. 8. 3. 3 水資源の有効利用のための膜利用水処理技術

4. 8. 3. 4 分離膜を有する膜の基本構造

4. 8. 3. 5 膜の種類:膜中の微細孔径による膜に区分と分離物質

4. 8. 3. 6 逆浸透の原理とRO(Reverse Osmosis)膜処理技術

4. 8. 3. 7 ろ過分離を原理とするUF(Ultrafiltration)膜・MF(Microfiltration)膜

4. 8. 3. 8 膜モジュールと特徴

4. 8. 3. 9 実用化された水膜処理技術の紹介

①上水道における膜ろ過処理

②下水道における膜ろ過処理 :MBR

③海水淡水化における膜ろ過

4. 8. 3. 10 今後の水循環システム開発

○第4編 産業用途への応用

(一社)日本繊維技術士センター 平野 繁

(8)環境用途 ④繊維製品のリサイクル

4. 8. 4. 1 はじめに

4. 8. 4. 2 繊維の環境負荷

4. 8. 4. 3 繊維のリサイクルの歴史

4. 8. 4. 4 現在の繊維製品の再資源化

4. 8. 4. 5 繊維製品のマテリアルバランス(消費量・廃棄量・回収資源化量)

4. 8. 4. 6 繊維製品のリサイクルを推進する施策

4. 8. 4. 7 繊維メーカーのリサイクルへの取組

4. 8. 4. 8 繊維リサイクルへの今後

2023 年 2 月号

＜解説:繊維技術ロードマップ その1＞

○なぜ、今、繊維技術ロードマップか？

経済産業省 田上博道

○繊維技術の現状と、今、取り組むべき課題

東京工業大学 鞠谷雄士

1. はじめに

2. 今後の繊維技術開発に関わる基本認識

3. 技術開発の手法

①サステナビリティへの対応

②デジタル化促進

③アプリケーションからの製品開発

④既存技術からのイノベーション

⑤産学官及び異業種との連携

○スマートテキスタイルの社会実装を目指した技術・サービス開発

国研開発法人産技研究所

牛島洋史

1. はじめに

2. スマートテキスタイルの開発課題

3. スマートテキスタイルによるビジネスデザイン

4. スマートテキスタイルの社会実装

5. 21世紀の繊維製品

○ウェアラブル・E-スマートテキスタイル(WEST)の年代記

東洋紡(株) 前田郷司

1. はじめに
2. 年代記
3. WESTに関する研究開発状況
4. WEST市場拡大に何が必要か

○第4編 産業用途への応用

(一社)日本繊維技術士センター 村山定光

- (9)防護服用途
- 4.9.1 防護服とは
- 4.9.2 防護服の開発史
- 4.9.3 防護服の分類と選択
- 4.9.4 防護服の性能と使用上の留意点

◆＜繊維製品消費科学会誌＞ 2023年1月号



【解説】

○繊維インテリア産業の歩みと市場動向(第一部)

(一社)日本インテリア協会 細井晃彦

○繊維インテリア産業の歩みと市場動向(第二部)

日本カーペット工業組合 窪田 衛

○バイオメティクスの視点で見る化学繊維の変遷(その1)

(一社)日本繊維技術士センター 八木健吉

1. 繊維とバイオメティクス
2. バイオメティクスから生まれた化学繊維
3. バイオメティクスにより発展した化学繊維
- 3-1 合成繊維
- 3-2 スペシャルティ合成繊維
- ①シルクライク繊維 ②極細繊維 ③中空・異形繊維 ④複合繊維
4. 自然に学び自然を超えたスーパー繊維
5. 20世紀はバイオメティクス繊維の時代

○快適・機能性スポーツ/アウトドア素材の展開について

東レ(株) 中屋洋平

1. はじめに
- 1-1 市場動向
- 1-2 市場拡大の背景
2. 機能素材ブランドと特性
3. 要求特性に呼応した素材ブランド
- 3-1 ストレッチ性
- 3-2 軽量
- 3-3 吸水速乾
- 3-4 軽量保温
- 3-5 高通気
- 3-6 難燃
- 3-7 防水透湿

○発刊の機序と発汗異常を伴う疾患

横関皮膚科クリニック

横関博雄

○女性の化粧における世代間差異の日中比較

久留米大学

孫 曉強 木藤恒夫

◆＜繊維機械学会誌＞ 「月刊せんい」 2023 年 1 月号



- シルク素材の用途開発 岡谷蚕糸博物館 高林千幸
- 凍結乾燥法を利用したアルミナナノ繊維の形成と放熱シートへの応用 福井大学 中根幸治
1. はじめに: 放熱材は集積回路等で局部的に発生する熱を外部に放散させる。
 2. 凍結乾燥法によるポリビニルアルコールナノ繊維集合体の形成
 3. 凍結乾燥法で得られたポリビニルアルコール/ペーマイト複合ナノ繊維集合体の熱処理によるアルミナナノ繊維集合体の形成
 4. アルミナナノ繊維集合体を用いた放熱シートの作製
- グァーガムの使用による紙力への影響 三晶(株) 新地将大 小田涼太
1. はじめに: 紙力の強化に天然素材由来のグァーガムについて解説する
 2. グァーガムの特性
 3. リサイクルパルプに対する紙力剤としての未変形グァーガム

◆＜日本技術士会誌＞ 「技術士 PE」 2023 年 2 月号



- 地域活性化技術特集
- 超臨界 CO₂を用いた繊維の無水染色・機能性加工技術の開発 (一社)日本繊維技術士センター 保城秀樹
1. 日本の線産業の現状
 1. 1 環境不可の高い繊維産業
 1. 2 繊維産業の海外生産拠点
 2. 超臨界染色の試み
 2. 1 超臨界染色の歴史
 2. 2 超臨界染色とは
 2. 3 超臨界染色
 3. 超臨界染色・機能性加工
 3. 1 新たに挑戦する超臨界染色・機能加工
 3. 2 超臨界染色加工における課題
 3. 3 超臨界染色・機能性加工への取り組み
 3. 4 研究開発成功時の波及効果・インパクト

(月刊誌)

◆＜加工技術＞ 2023 年 1 月号



- 新春座談会: 繊維産業はどう舵を切るべきか? (一社)日本染色協会 大島直久
(一社)日本繊維技術士センター
嶋田幸二郎、八木健吉、樫本嘉顯、松原富夫、森本國宏
- 2023年“新価値”を創るこの商品・この技術

◆＜不織布情報＞ 2023 年 1 月号

次月掲載します。

◆＜新聞、他＞

織研新聞

○2022 年 1 月～12 月 の衣料品の輸入（数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比）

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	1363	8,551	736	7,243	2,099	59.3	15,794	53.6
		▲3.9	18.1	4.4	19.2				
2	ベトナム	354	2,584	151	2,280	505	14.3	4,864	16.5
		7.9	37.5	15.6	38.9				
3	バングラデシュ	200	890	78	854	278	7.9	1,744	5.9
		10.5	31.8	11.2	44.5				
4	カンボジア	143	776	61	769	204	5.8	1,545	5.2
		3.3	28.1	▲0.1	33.9				
5	インドネシア	55	426	40	515	95	2.7	941	3.2
		▲18.9	4.5	▲1.5	35.2				
6	イタリア	1	347	1	494	1	0.1	841	2.9
		3.7	25.1	7.4	27.3				
7	ミャンマー	80	434	78	980	158	4.5	1,414	4.8
		51.1	109.2	53.9	89.5				
全世界		2,336	15,189	1,201	14,250	3,537	100	29,439	100
		0.3	23.7	7.7	28.2			100	

出所:日本貿易統計

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、jtccnews@mbr.nifty.com に投稿してください。（掲載料金は無料です。）

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題、JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先:jtccnews@mbr.nifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、jtccnews@mbr.nifty.com です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪府中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469